

公益財団法人武蔵野市福祉公社

武蔵野市福祉公社は、武蔵野市が全国に先駆け、昭和55年に設立した在宅サービス提供機関です。誌名「羅針盤」は、ご利用者を包括的に支援し、その人生と共に歩むサービスの基本姿勢を示したものです。

誌面より

- 新理事長から職員へ「超高齢・人口減少、そしてコロナ禍～課題と私たちの役割～」
・・・1ページ
- 新入職員向け認知症サポーター養成講座
- 専門スキル向上を目指して
- 研修修了！まるで「卒業式」
・・・2ページ
- 笑顔満開！夏祭り / 盆踊りの夏祭り
- 今年はオンラインで実習（武蔵野大学 FS）
・・・3ページ
- お知らせ
- リレーコラム・編集後記
・・・4ページ

新理事長から職員へ 「超高齢・人口減少、 そしてコロナ禍～課題 と私たちの役割～」

7月8日、6月に理事会で承認された森安東光新理事長による「理事長講話」を開催しました。例年は新入職員の紹介や職員交流を兼ねて実施していますが、新型コロナウイルス感染症予防対策の為、オンラインでの実施となりました。

具体的なデータや資料から武蔵野市の現状、職員の果たすべき役割など分かりやすく、そして説得力のある話がありました。コロナ禍において、課題が複雑化し、更なる連携が大切であることを再認識しました。また、福祉公社の役割でもある「セーフティネット」について、単に救済策を網の目のように張ることで、安心して安全に暮らすための下支え機能だけではなく、安心して挑戦してもらう為の勇気を後押しする役割もあるということ、空中ブランコの安全ネットとバンジージャンプの安全ロープに例えた話が大変印象的でした。

後日、動画視聴が可能になったことで、当日は業務等で視聴できなかった職員、もう一度聞き直したい職員等、より多くの職員が共有できるようになりました。福祉公社の職員として何ができるのか、何をしたらよいのかを考える良い機会になったと思います。

（研修委員会 三上）



新入職員向け 認知症サポーター養成講座



福祉公社では新入職員向けに様々な研修を企画しています。

その研修の一環として、7月21日に在宅介護・地域包括支援センターの職員が講師となり、認知症サポーター養成講座を開催しました。

今回は、権利擁護センター、社会活動センター、ホームヘルプセンターから新入職員6名が参加し、認知症の基本的な知識や対応方法について講義しました。「認知症の方が不安や苦しみを抱えていることを改めて学び、今後の支援に役立てたい!」と、熱い感想が寄せられました。(在宅介護・地域包括支援センター 鈴木笑)

専門スキル向上を目指して



権利擁護課職員の専門スキルの向上を目的として、独自の課内研修を行うことにしました。初回は、武蔵野市消費生活センターより講師をお招きして実施しました。

消費者被害未然防止のために

講題は「消費者被害未然防止のために」、相談事例として保険金利用の住宅修理、不用品買取の話や、契約締結後の解決案等、具体的な事例を交えたとても実践的な内容でした。クーリングオフ（一定期間は契約解除ができる）の利用法もクイズを交えて学びました。

被害に遭われた高齢の方の特徴として、「お金の不安がある、健康の不安がある、孤独な方」が多いそうです。優しく言葉巧みな事業者に対し、「あの人はいい人だから」と騙されたことに気づかず、また、騙されたこと自体を否定す

る方も少なくないとのことでした。

福祉公社の職員が出来ることは、敏感なアンテナをもち、ご利用者のちょっとした変化を察知し、その不安を軽減するよう寄り添うこと、専門機関がチームとなって情報を共有し、迅速に被害回復に努めることです。専門の法律知識を有し行動力のある専門機関と、今回顔の見える関係を築けたことは、研修の大きな意義だと感じました。(権利擁護センター 桑高)

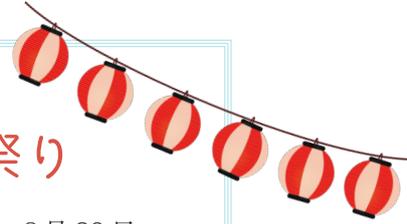


研修修了！まるで「卒業式」



5月に開講した介護職員初任者研修が、修了式を迎えました。修了証を受取った皆さまは晴々とした、学校の「卒業式」のような喜びの表情。日々の講義や演習、試験を通して「学生時代に戻ったような気分だった」という声もありました。

当センターでは12月に介護職員初任者研修フォローアップミーティングを開催予定。過去の受講者全員が対象の、いわば「同窓会」のようなもの。冬に皆さまと再会できるのが楽しみです。(人材育成センター 条谷)



盆踊りの夏祭り

ホール内を賑やかに飾りつけ、8月20日に開催しました。当日は25名の利用者のみずきっこ7組の親子がオンラインで参加しました。

初めは、「風船送りゲーム」です。紅組・白組に分かれ形の違う風船をうちわであおいで玉入れまで運び競うゲームです。「急いで」「こっち、こっちよ」と真剣にお互いに声を掛け合い夏祭りのムードが高まりました。次にみずきっこオンラインで繋いだ盆踊り大会です。「東京音頭」「炭坑節」など浴衣の職員のみずきっこ親子と一緒に踊りました。可愛い浴衣姿の子どももいて直接はふれ合えませんが、楽しいひと時を過ごすことができました。また、おやつは、職員がラムネのパフォーマンスを披露し、一段と盛り上がりました。(北町高齢者センター 張)



笑顔満開！夏祭り

今年の夏祭りは1階と2階のデイルームに分かれて開催しました。1階では盆踊りとビアガーデン、2階では民謡大会とドリンクバイキングで夏のおわりを楽しみました。お囃子の三味線はKさん(90歳)、太鼓はSさん(84歳)、歌はいつものIさん(84歳)が担当です。浴衣姿のセンター長が東京音頭を先導して、小さなお部屋が賑やかな空間になりました。楽しさが漏れ聞こえ、お部屋を覗きにきた人が何人もいました。ビアガーデンではノンアルコールビールを片手に男性達が出身地のご自慢話に花を咲かせていました。小規模でしたが開催してよかったと思いました。(デイサービスセンター 中村美)

今年はオンラインで実習 (武蔵野大学FS)

毎年8月中旬から9月上旬にかけて、福祉公社では武蔵野大学1年生の学外学修・フィールド・スタディーズ実習生を受け入れています。今年度の実習生は社会福祉士の資格取得を目指す学生2名で、オンラインにより5日間かけて全部署の事業内容を説明する授業を行いました。福祉現場を熟知する職員から実習生へ向けて、日々の奮闘や業務の意義を少しでも実感してもらえるように、豊富な事例や資料を使用して授業を展開しました。

多様な福祉現場の現状を意欲的に深く学ぼうとする実習生に、少しでも役立つことができたなら何よりの喜びです。(管理・社会活動センター 島田)



◆武蔵野大学フィールド・スタディーズ

武蔵野大学フィールド・スタディーズとは、武蔵野大学生が学外に出て就業体験を通じて社会の課題に直接向き合い学びを深めていくプログラムです。福祉公社では1年生を対象にした実習を受け入れています。

実習生より

「実際に、福祉の現場について詳しく学ぶことが出来ました。今後の学習に活かしていきたいです。」

「今年はオンラインでの実習でしたが、そんな中でも武蔵野市福祉公社の職場の人達の仲の良さや明るい雰囲気、やりがいを持って仕事をしているのが画面越しでも伝わりました。」

実習指導員より

「皆様方の熱意あふれるご指導に心より感謝申し上げます。受講した学生は、福祉に対して深く理解し、今後一層の希望をもって活動していくと思います。ありがとうございました。」

老いじたく講座

● 老いじたくの基礎知識

9月24日(金)
13時30分～15時00分
@福祉公社1階会議室

● エンディングノート講座

10月8日(金)
17時00分～18時30分
@福祉公社1階会議室

法律相談(成年後見関連)

毎月第2火曜日
(次回は10月12日 午後/予約制です)

法律相談(高齢者にかかる一般法律相談)

毎月第4水曜日
(次回は9月22日 午後/予約制です)

【問合せ・申込み】 権利擁護センター ☎ 0422-27-5070

家族介護教室 **みどりの輪** 「みんなで話そう 介護の体験」

日時 令和3年9月24日(金)
13時30分～15時00分(13時00分受付開始)
場所 高齢者総合センター 3階講義室
定員 15名 ※定員を超えた場合は新規の方を優先します。

【問合せ・申込み】 高齢者総合センター在宅介護・地域包括支援センター

☎ 0422-51-1974

高齢者総合センター
社会活動センター 受講者募集

- ・特別短期講座「季節のガーデニング」
詳細は9/15号市報もしくはホームページをご覧ください。
- ・特別短期講座「編み物」「楽しいウォーキング」
詳細は10/1号市報もしくはホームページをご覧ください。

【問合せ・申込み】 高齢者総合センター社会活動センター

☎ 0422-51-1975



ホームページはこちらから↑

職員リレーコラム 家時間の過ごし方

権利擁護センター 桑高知代



コロナ禍での家時間に、前から気になっていたことや止めてしまっていたことに、リトライ中。例えば、歴史本を読んだり、ウォーキング、家計簿整理をしてみたり。やってみて、なぜ足が遠のいてしまったのかを思い出しました。家計簿は食材レシートの多さに愕然とし、ウォーキングは歩いて疲れて何もする気が起きず、歴史本は読んだ内容をすぐ忘れ、良かれと思って逆にも落ち込むことが多かったからです。先日も、検査で貧血の値が低かったため、初めてレバー料理に挑戦。台所で1人、キャーキャー叫びながら手を赤く染め、

逆に血の気が引いてしまいました。

結局、やってみて面白くないことは続きません。そこで、家計簿はアプリで分析、鉄分はサプリで補給、難読書は動画サイトの解説を視聴するなど、あまり無理なく気負わない方法に切り替えも試しています。時間と気持ちに余裕がでると、ちょっとダメな自分も笑えるくらいになりました。「頑張らなきゃ」より「面白いかも」でやってみる好奇心を、落ち込むより柔軟性をもってみたいです。最近は、リング酵母でパン作りに挑戦。今のところは楽しめています。

次回は  ホームヘルプセンター 吉田理恵子

福祉公社 各部署のご案内



<ホームページ>

◇ 武蔵野市福祉公社 <https://www.fukushikosha.jp>

◇ 武蔵野市地域包括ケア人材育成センター
<https://www.m-machigurumi.jp>

◇ ホームヘルプセンター武蔵野
<https://help-musashino.jp>

営業時間 8時30分から17時15分(すべて共通)

武蔵野市福祉公社 本部

武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

- 総務課 ☎ 0422-23-1165
- ※ 権利擁護センター ☎ 0422-27-5070
- 成年後見利用支援センター ☎ 0422-27-1238
- 生活自立支援センター(三蔵サテライト) ☎ 0422-66-2801
- ※ ケアプランセンター ☎ 0422-27-5076
- ホームヘルプセンター武蔵野 ☎ 0422-23-2611
- 地域包括ケア人材育成センター ☎ 0422-20-3741

武蔵野市立北町高齢者センター

武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

- コミュニティケアサロン ☎ 0422-54-5300
- 子育てひろば・みずきっこ ☎ 0422-38-5150

武蔵野市立高齢者総合センター

武蔵野市緑町2-4-1

- 管理・社会活動センター ☎ 0422-51-1975
- 在宅介護・地域包括支援センター ☎ 0422-51-1974
- 住宅改修・福祉用具相談支援センター ☎ 0422-51-1974
- デイサービスセンター ☎ 0422-51-2933

広報委員会

編集後記

広報委員会では福祉公社設立40周年に向けて、パンフレットを新しく作っています。それに載せるデイサービスの資料を探していると、地域の方を招待して賑やかに行われた夏祭りの写真を見つけました。コロナ禍のため地域の方との交流は今しばらくお預けですが、また安心してふれあえることを夢見しています。羅針盤では、そんなほっこりする記事をお届けして参りたいと思います。(デイサービスセンター 安部)

【※ご案内】 下記部署の電話番号が変更になりました!

◆権利擁護センター: 0422-23-1165 → 0422-27-5070 ◆ケアプランセンター: 0422-23-1165 → 0422-27-5076